

豊増一雄 青花の源流
七月四日（土）—十四日（火） 会期中無休



料金後納
ゆうメール

豊増一雄展 青花の源流

2015年7月4日(土)～14日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 7月4日(土)・5日(日)

豊増一雄さんは、佐賀県有田町で瓷器を作っています。薪で焼く瓷器は歩留まりの点でリスクを伴いますが、豊増さんは敢えて初期伊萬里の作風を求める為に有田固有の泉山陶石を用い、薪窯による焼成にこだわっています。その過程から生まれる瓷器は、とろりと柔らかく温かみを帯びています。初期伊萬里とは、この有田周辺で江戸初期に作られた日本最初の磁器。豊増さんは、さらにその源流となる元・明時代の中国の青花(=染付)に通じる古典的な作行を求めて日々精進しています。豊増さんは上海で生まれ、10歳まで中国本土で育ちました。中国残留孤児であった実父・晏正さんは、中国・江西省の景德鎮陶瓷学院(国立大学)で長年、教師を務められ、陶芸作家としても活躍されている方です。その出自から見れば、中国で生まれた青花や白瓷、青瓷の原点を求める豊増さんの在り方は、必然的な帰結のように思えます。その源流を探るべく、中国や韓国の古い窯跡を訪ねたり、勉強会にも積極的に参加し、日々研究に余念がありません。その思いはやはり青花の源流となる当時の陶工たちへの深い憧憬でしょう。初期伊萬里、古染付、祥瑞、青瓷などの古典好きの方にもお勧め致します。初夏を迎えるこの時期に、食卓に涼しさを呼ぶ青花の器。ぜひこの機会にご高覧ください。

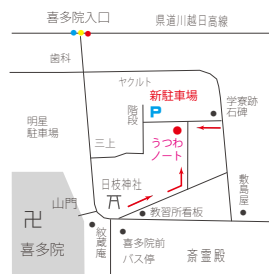
店主

プロフィール

1963年 中国上海市生まれ
1989年 京都府立陶工訓練校 成形科修了
1990年 同校 研究科修了
1990年 八世高橋道八に師事
1993年 佐賀県有田町に戻り作陶
1994年 同地にて陶房七〇八を開窯
2015年 現在、佐賀県有田町にて作陶

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：川越駅東口3番乗り場[小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側になります



豊増さん工房にある薪焼成室登窯